

伊予高校 図書館だより Library News 2025.12

 <p>国力研究 日本列島を、強く豊かに。 高市早苗 著 産経新聞出版</p> <p>政治に関する専門的な内容が、理解しやすく整理されています。安易な理想論ではなく、現実に基づいた議論が多く盛り込まれており、日本の未来を真剣に考えている人にとって大きな刺激となる一冊だと感じました。(301 図書委員)</p>	 <p>変な地図 雨穴 双葉社</p> <p>この本はタイトルから感じられるようにとてもおもしろいミステリー作品でした。最初から最後まで展開が予測できないものばかりで、次はどんな続きが書かれているのかワクワクしながら夢中になれる作品でした。(305 図書委員)</p>
 <p>スマホ時代の「眼」メンテナンス 眼科専門医が教える最新知識 栗原大智 著 高橋書店</p> <p>この本は、目に関するいろいろな病気やためになる知識が書かれています。今まで目に良いと考えていたことが効果がないと知り、驚きました。また、病気の症状や対策などが載っており、読んでいてためになりました。(201 図書委員)</p>	 <p>成瀬は都を駆け抜ける 宮島未奈 著 新潮社</p> <p>どんな場所でも真っ直ぐ自分を信じて突き進む成瀬の在り方に周囲の人達が照らされたように、私も元気をもらうことができました。また、自分の娘が周りと違っていても信じ続ける芯の強い成瀬の母にも惹かれるお話でした。(201 図書委員)</p>
 <p>命の燃やし方 鈴木大飛 著 講談社</p> <p>鈴木大飛さんの言葉がまっすぐ心に刺さった。命をどう使うか考えるきっかけになったし、自分ももっと本気で生きたいと思えた。本気の大切さを感じた。読んだあと、自分の目標をもう一度見つめ直したくなった。(102 図書委員)</p>	 <p>小泉八雲とセツ「怪談」が結んだ運命のふたり NHK朝ドラばけばけ NHK出版</p> <p>明治時代の作家、小泉八雲とその妻セツの足跡を辿る一冊です。二人の『怪談』に込めた想いや、その日常について垣間見る体験を味わえます。連続テレビ小説『ばけばけ』の理解を深めることにも役立ちます。(305 図書委員)</p>
 <p>意味が分かると怖い写真 藤白圭 著 河出書房新社</p> <p>本のタイトルからも分かるよう、写真を見ただけでは普通の写真と変わらないけれど、書かれてある意味を理解すると怖い写真になると感じました。1つ1つが短い言葉で書かれているので少しの時間でも読めました。(104 図書委員)</p>	 <p>ブルーピリオド 18巻 山口つばさ 著 講談社</p> <p>ある日突然美術に興味を持った主人公が、東京藝術大学への進学を目指す物語です。この物語は登場人物たちの心理描写がとてもリアルでこれから進路に迷う我々学生にとてもよい刺激になると思います。(101 図書委員)</p>
<p>5分後に意外な結末ベストセレクション 空の巻</p>	<p>桃戸ハル 編・著 講談社</p>